

新聞を通して表現力や思考力を身につけてもらおうと、福井新聞社は小中学生向け「NIE塾」の第1回講座を開いた。小学2〜6年の12人が参加し、春をテーマにした「切り抜き新聞」作りを楽しんだ。

講師は本社の徳島泰彦NIEコーディネーター。参加者は、会場内に並べられた4〜5月の福井新聞や「こどもタイムズ」から、春を感じる写真や見出しを切り抜き、画用紙に貼り合わせるオリジナルの新聞作りに取り組んだ。

ゼンマイ採りや「キャンプ場盛況」の記事を使い、春の楽しみ「たぐさ」とタイトルの花が咲き誇る写真

児童、切り抜き新聞挑戦



春をテーマに切り抜き新聞を作る参加者＝福井新聞社
(東村淳悟撮影)

本社でNIE塾開講

教員対象も

を組み合わせた「春のお花」と書き込んだりするなど、参加者はレイアウトや見出しに工夫を凝らした新聞を完成させた。

「できあがった新聞を手元に、ペアになって新聞に込めた思いや工夫した点を発表し合った。学校の授業で新聞作りに興味を持ち、参加したという山本紗季さん(福井・和田小6年)は「伝わりやすい見出しや写真の配置を考えるのは難しく、新聞作りは大変だな」と思ったけれど、楽しかったです」と笑顔を見せていた。

4月末には教員を対象にしたNIE塾の初回講座が開かれた。NIE実践指定校の教員ら4人が参加し、授業で活用できそうな記事を選ぶワークショップに挑戦。徳島コーディネーターは新聞には子どもが関心を持つ身近な話題がたくさんある。記事の中に使われている表やグラフを使い、資料を正しく読み取る力を付けることもできる」と助言した。

塾は来年2月まで、毎月第4金曜の午後7時から教員対象に、毎月第2水曜の午後5時から小中学生向けに開催。第2回は教員向けが5月25日、子ども向けが6月13日。会場は福井新聞社。参加無料で1回のみ参加も可能。申し込みは同社みんなの新聞部☎0776(57)51222。メールアドレスfnie@fukunews.co.jp

(宇野和宏)